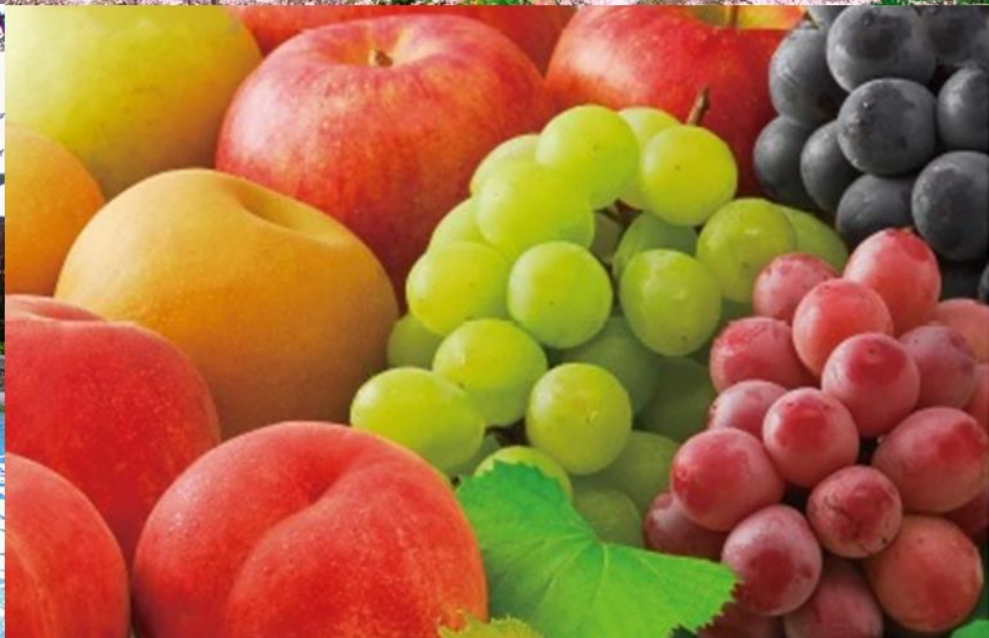




復興創生・広域的発展を牽引

住み続けたいまち

安全・安心

子育て・教育

産業振興

賑わい・文化

デジタル化
ゼロカーボン化

女性等活躍
共創

関係人口拡大

移住・定住拡大

関わりたいまち

人・まち・自然が奏でるハーモニー 未来協奏(共創)都市 ～世界にエールを送るまち ふくしま～

市民が誇りをもって住み続けたい、よその人が関わってみたいと思うまち
これを実現し、大震災からの復興創生を成し遂げ、「世界にエールを送るまち」に

基本理念(まちづくり全体を網羅する重要な5つの視点)

1. 福島らしさを生かした 新ステージの形成

自然や歴史、花や音楽等、
福島らしい特徴を生かす視点
グレードアップしていく視点

2. 持続可能性の実現

地域としての持続可能性、
SDGsの要素や考え方を考
慮する視点

3. 多様性の尊重

人間尊重や一人ひとり、
様々な主体の多様性を尊重
する視点

4. 県都としての責務

「福島」の名を有する県都と
して県全体の発展、復興・
創生に貢献する視点

5. ポストコロナ時代を 見据えた社会づくり

ポストコロナ時代を見据え
た新たな発想による社会づ
くりの視点

福島らしさを生かした
ここにしかないまち



田園の豊かさ、人の好さを生かした
共生・共創のまち

福島市人口ビジョン（2020年度改訂）

人口目標：

2040年（令和22年）に

24万5千人

施策展開で
人口を上げ

①自然動態と②社会動態
の条件実現により
人口目標の達成を目指す

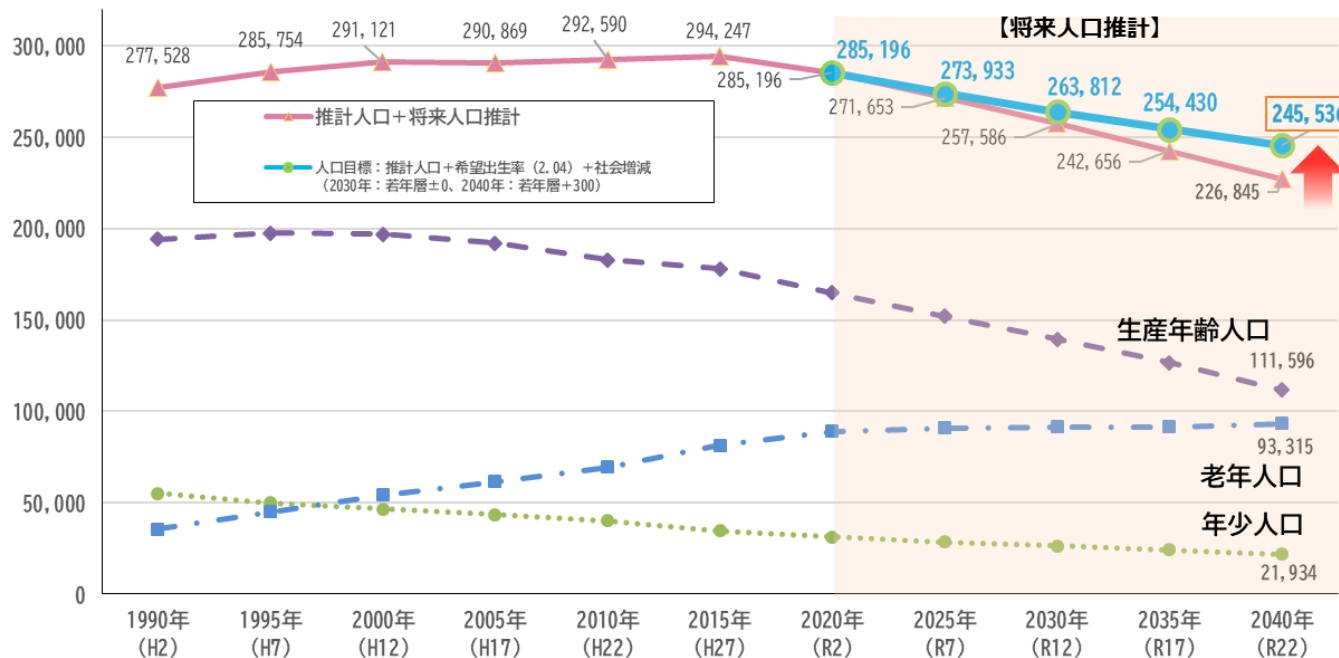
【シミュレーション条件①（自然動態）】

2040年（令和22年）に市民の希望出生率「2.04」

【シミュレーション条件②（社会動態）】

2030年（令和12年）に若年層の社会増減「±0人」

2040年（令和22年）に若年層の社会増減「+300人」



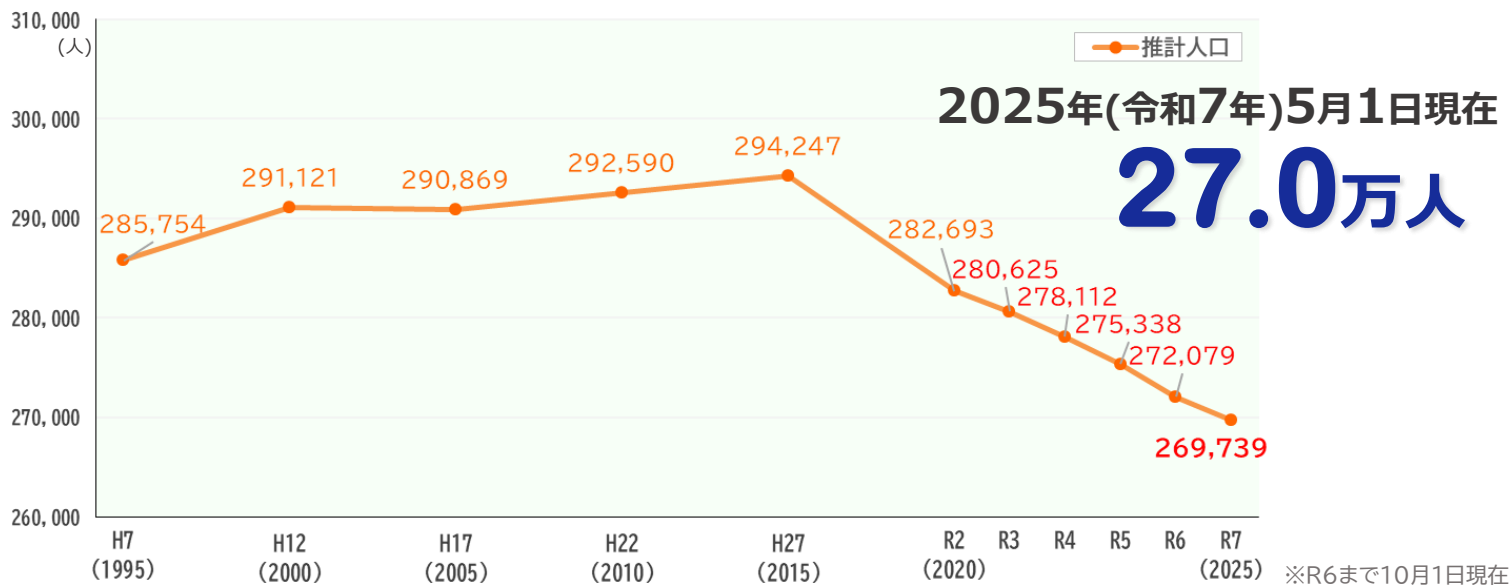
・生産年齢人口は1995年（H7）がピーク。

・年少人口は減少、2000年（H12）以降は老年人口が上回る。

・出生数減、転出超過（社会減）の傾向続く。

福島市の人口

【人口推移】



- ▶ **社会動態**
 - ・ 青年層を中心に大都市圏への転出超過がコロナ後増加傾向。
 - ・ 近年は減少幅が拡大傾向。首都圏との賃金格差が要因と推察。
- ▶ **自然動態**
 - ・ R3以降、出生数は過去最少が続く。R6は前年比9.8%減。
 - ・ こどもの数・割合、婚姻届出件数も減少傾向。
- ▶ **男女比**
 - ・ 市全体では女性人口が多いが、若年層は男性より女性が少ない。(20代は6%程度女性が少ない)

<年齢別社会動態>

区分	総数	～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
増減	△826	△8	73	△807	△64	△24	32	△5	△13	△10
転入	8,080	564	736	3,013	1,530	901	748	308	153	127
転出	8,906	572	663	3,820	1,594	925	716	313	166	137



令和7年度当初予算の概要

一般会計当初予算

1,253億円

大震災から15年目
復興創生の新ステージへ

過去最高額の積極型予算！

※除染関連事業費を除く

(対前年比 +76億円 +6.5%)

除染関連事業費を除く **1,249.9億円** (対前年比 +79.9億円 +6.8%)

除染関連事業費 **3.1億円** (対前年比 △3.9億円 △55.7%)

【財源の確保】

▶自主財源の確保

・市税の確保	424億円
・ふるさと寄附金	24億円
・自治体ビジネス収入	65万円
・ネーミングライツ収入	1,969万円
・広告料収入	1,568万円

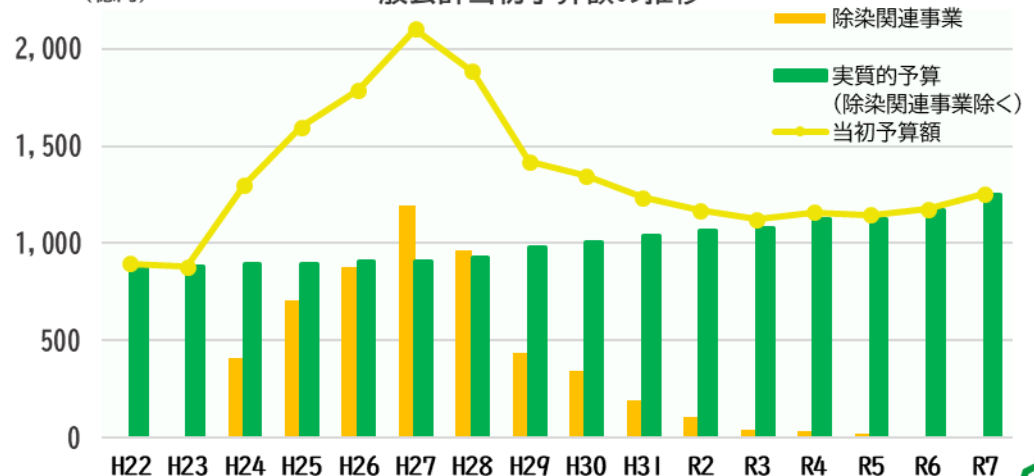
▶事務事業見直し等による財源捻出

▶有利な市債の活用

▶基金の活用

・15基金 49億3,021万円

(億円) 一般会計当初予算額の推移



令和7年度当初予算の概要

主要プロジェクト

変革と再生を図る施策に積極的にチャレンジし、市民生活とまちづくりのグレードアップを目指し、以下の8つの主要プロジェクトで、市政を推進します。

1

安全安心な
まちづくり

104億
5,197万円

2

子育てと教育で
選ばれる
まちづくり

300億
7,511万円

3

高齢者や障がい者、
誰もが健康で元気に
暮らせるまちづくり

184億
644万円

4

将来にわたり
持続可能な
産業の振興

23億
4,667万円

5

賑わいと
文化・スポーツの
振興

46億
1,619万円

6

デジタル都市の
形成と地域経営
のリノベーション

26億
8,878万円

7

ゼロカーボンの
推進

23億
5,538万円

8

移住・定住の促進、
女性活躍社会の
形成

2億
3,785万円

1 安全安心なまちづくり

(1) 災害に強い防災都市の形成

度重なる災害経験や他災害の**教訓を生かし**、社会インフラ整備等の**ハード事業**と創意工夫した**ソフト事業**、**多様な連携**で、定住の基盤となる災害に強い**防災都市の形成**を目指します。

①災害対策の強化 ～災害経験・他災害の教訓を踏まえて

I 地震に強いまちづくり

- ・**住まいの耐震化促進**（耐震診断・改修の補助拡充。3月から前倒しで受付）
- ・ブロック塀等撤去支援
- ・**道路の改良、橋梁の耐震補強**（計画の前倒し）
- ・**上下水道の耐震化**（救急医療機関等を優先。水道基幹管路の耐震適合R7末100%）



河川浚渫

II 水害対策パッケージ ～減災・水防対策、土地利用対策、治水対策、流域対策

- ・ハイブリッドな浸水対策

河川改修、河道掘削、祓川浸水対策、農業施設防災改修支援、雨水貯留施設、**田んぼダム設置拡大**、**アンダーパス等へ浸水センサ設置**、広域的な流域治水



水道管耐震化

III デジタル活用による高度化

- ・**災害対策オペレーションシステム運用** ～情報の一元的な収集・表示・発信(R3)
雨量・河川水位等の自動収集、市独自雨量計、GIS利用の被害情報、避難情報の発令判断支援・一括配信、SNS情報自動収集、河川水位予測、情報発信の多重化(屋外スピーカー、戸別受信機、テレビdボタン)
- ・**被災者支援システム**（罹災証明から各種支援まで一元管理。民間と共同研究で発売）

IV 熱中症対策

- ・ふくしま涼み処（5月に27ヵ所前倒し開放。R6:191ヵ所）
- ・**SNS等注意喚起**

V 除雪力強化パッケージ ～雪害への総合的な対策強化

- ・除雪車運行管理システム
- ・**除雪マニュアル策定**（共創で除雪体制強化）
- ・**アダプト制度**（地域除雪6団体と協定締結）
- ・小型除雪機械購入補助
- ・市民への貸出用具の充実



除雪アダプト制度

1 安全安心なまちづくり

(1) 災害に強い防災都市の形成

②防災体制の強化

- ▶要援護者支援パッケージ（避難行動要支援者の名簿更新・個別プラン策定、施設の避難確保計画整備）
- ▶防災訓練の実効性確保（夜間・真冬・広域等、市民の初期対応訓練）
- ▶防災意識醸成・危機対応力向上 ～**ぼうさい体験パッケージ**（学校、地域、企業へ展開）
- ▶災害協定締結（看護学校等のボランティア派遣（R6.3福祉避難所等）、町内会の指定避難所運営）
- ▶災害時連携ふくしまタスクフォース（災害協定事業所の横断的連携）
- ▶災害復旧費の事前計上 ▶受援体制の強化
- ▶災害応援（職員派遣：**大船渡山林火災**、能登半島地震・豪雨、募金：**ミャンマー地震**）
- ▶**応急給水体制の強化**（拠点給水、3t給水車・組立式給水タンク導入）
- ▶多様な避難施設、分散避難



組立式
給水タンク

避難所体育館のエアコン整備、トイレカー導入準備

避難所増設（警戒レベルに応じ**47カ所**）、店舗等駐車場の一時避難場所（33カ所）

通い慣れた障がい福祉施設の避難所活用（12法人21事業所と協定）

妊産婦・医療的ケア児等の旅館・ホテル避難（15カ所と協定）

ペット同伴避難所の充実（動物愛護ボランティア創設、県獣医師会協定 **全国初**）

多様な施設の活用（**旅館・専門学校**の一時避難所、町内会と民間事業所の協定、福島刑務所との協定）

- ▶避難所運営のデジタル化（混雑状況の配信、マイナカード活用の受付実証実験R6）

- ▶防災IP無線機の活用



ペット同伴
避難所



防災IP無線機

③消防力の充実強化

- ▶消防本部・福島消防署の再整備（旧市民会館用地へ移転。R10.4供用開始予定）
- ▶清水分署再整備（R3.12） ▶ハイスパックドローン運用 ▶消防団水利デジタルマップ（R6.2）
- ▶**消防団処遇改善**（出動報酬R4.4、団員等R5.4、女性消防隊等R6.10）

1 安全安心なまちづくり

(2) 生活環境の整備

市民が快適な生活を営み続けるための環境整備を行います。
仮置場の原状回復と返還を行い、健康管理・食品等の放射能測定等を実施します。

①生活環境の整備

▶あぶくまクリーンセンター再整備

設計から20年間運営のDBO方式、余熱発電、R10供用開始予定

▶あらかわクリーンセンターの長寿命化に着手

▶大館山最終処分場の完成・稼働

▶ムクドリ、カラス対策

街路樹剪定、音声再生装置等での街なかフン害対策、冬場のカラス対策強化

▶合併処理浄化槽設置・転換支援（市街化区域の補助上乗せによる整備促進）

▶第4種踏切安全対策（短期的安全対策をR6未完了）

▶通学路等の交通安全施設整備の加速化（歩道拡幅・交差点改良、道路標識更新、照明灯LED化）

▶特殊詐欺の防止

▶犯罪被害者への支援

R6.5ハンドブック作成、R6.3犯罪被害者等支援条例の制定、R5見舞金創設

②放射線関連の対応

▶仮置場の原状回復と返還の推進

R7末全41ヵ所返還完了見込み

▶放射線からの安全安心確保

環境放射線量の測定、健康管理、給食まるごと検査、農産物・食品等放射能測定、放射線教育

▶原発処理水海洋放出による影響注視



あぶくまクリーンセンター
再整備イメージ



犯罪被害者等支援
ハンドブック

犯罪被害にあわれた方とご家族へ

福島市

(1) 子育て支援の充実

子育ての切れ目ない経済的支援や多様で質の高い保育の提供に加え、子育てにやさしい環境の充実を図り、地域全体で子育てを応援します。

① 子育てのための経済的支援

～結婚から子供が健やかに育つまでの間、
切れ目ない経済的な支援を総合的・継続的に推進～

日本子育て大賞 **受賞** R5 **東北初**
共働き子育てしやすい街
2年連続 東北**1**位

結婚新生活

市独自

- 結婚新生活応援
 - ① 住宅スタートアップ支援(所得制限なし)
・初年度15万円)
 - ② 家賃支援
・2年間
・最大年24万円
 - ③ 住宅取得・リフォーム支援
・最大30万円

妊娠～出産期

- 妊娠届時
5万円給付
- 市独自**
○ 妊婦健診15回無料
- 市独自**
○ 新生児聴覚検査無料
- 出生時
5万円給付
- 出産育児一時金
50万円給付

乳幼児期

市独自

- 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の34%を支援

市独自

- 0～2歳児の保育料を
国基準額から軽減

市独自

- 第2子の保育料1/2
第3子以降は無料
(所得制限・年齢基準なし)

- 幼児教育・保育の
無償化

小学校

市独自

- 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の47%を
支援

市独自

- 拡** 放課後児童クラブの
利用料を軽減
・第1子(低所得世帯)
2,000円
・第2子 2,000円
・第3子以降
4,000円

中学校

市独自

- 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の42%を
支援

高校

市独自

- 奨学資金
支給制度
・年5万円

総額 **79億291万円**



福島型給食

市独自

国民健康保険税軽減(未就学児、18歳以下の第2子以降 均等割全額減免)

市独自

子どもの医療費18歳まで全額無料(窓口無償化)

拡

児童手当 月額1万円～第3子3万円、高校生まで、所得制限なし(R6.10～)

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(1) 子育て支援の充実



【えがお条例基本理念】

- ①1人の人間として尊重
- ②自己肯定感が育まれる
- ③社会生活能力の習得
- ④個性や可能性を伸ばす
- ⑤地域社会の連携協力

②保育の質の向上

- ▶特色ある幼児教育・保育の推進（豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を応援。11施設）
- ▶市立幼児教育・保育施設の再編（24→12園。市内4区分し拠点整備。老朽施設の統廃合と民間移行等）
- ▶（仮称）もりあい認定こども園整備（モデル的拠点。病児・休日保育、民間への研修等実施、R8開園予定）

③多様な保育の提供

- ▶**こども誰でも通園制度**（R7.7本格スタート。未就園児の定期的な預かり）
- ▶休日保育（私立1施設、公立1施設）
- ▶**病児・病後児対応型保育**（3施設。病児・緊急時の子ども預かり）

④子育て環境の整備

こどもの居場所・遊び場「こどもベース」づくり

- ・**こむこむ館全面リニューアル着手**（こどもベースの街なか拠点）
- ・**学校施設を活用した居場所づくり**（立小山小：子ども教室、第三小：放課後児童クラブなど）
- ▶こどものえがお条例
- ▶**放課後児童クラブの運営拡大**

H29:69クラブ⇒R7:98クラブ、登録児童1,277人増。待機児童H30:89人※ピーク時⇒R7:2人

▶子ども医療確保

小児科6カ所の新設支援、夜間休日急病センターに休日小児科開設(R6.7)、
オンライン診療、適正受診の啓発

▶乳幼児健康診査の拡充（1カ月個別健診を追加）

▶こども家庭センターの前倒し設置（子ども、妊産婦、子育て世帯の総合相談窓口）

▶子育て支援アプリの機能拡充（妊娠届出、検診予約、問診票登録）

▶子育て世帯・ヤングケアラー訪問支援 ▶子ども食堂運営支援 ▶新婚・子育て世帯向け住宅の提供



特色ある
幼児教育・保育

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(1) 子育て支援の充実

⑤待機児童解消 ～官民連携の待機児童対策推進パッケージ～

I 保育の受け皿の拡大

- ・保育定員 **1,140人増** (H30.1⇒R7.4)
- ・AI活用による入所実現 (R7.4実績:**58人**)
- ・企業主導型保育施設 **6施設301人増** (H30.1⇒R7.4)
- ・幼稚園送迎ステーション (R6:2カ所に設置)
- ・私立幼稚園預かり保育支援 (R7.3利用**547人**、R7:8施設)
- ・保育アテンダント (入所マッチング専任相談員2名配置)
- ・私立保育所施設の改築支援 (R7:2施設85名増)

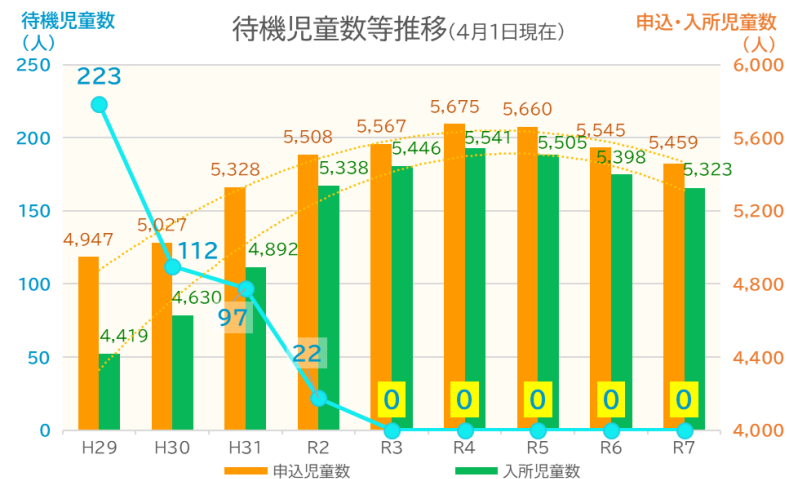
II 保育士の確保

- ・保育士雇用 **510人増** (H30.4⇒R7.4) ※認可保育施設
- ・保育士等奨学資金貸付 (R6:**75人** 無利子・返還減免)
- ・保育士するなら福島市！プロモーション (保育士体験等)
- ・保育人材バンク (R6:就労**65人** 潜在保育士の就労支援)
- ・UIターン保育士就労支援 (R6:就労**1人**)
- ・保育士宿舍借上げ支援 (R6:**17施設**)
- ・保育士等の処遇改善

III 保育の質の確保

- ・保育の質ガイドラインを踏まえた研修会
- ・保育支援員雇用支援 (R7:**44施設**)
- ・ICTを活用した保育業務支援システムの運用

待機児童 **5年連続 0!!**
対H29 **△223人**



保育士プロモーション動画

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(2) 教育の充実

ICT活用や企業等との連携による授業・部活動の充実や、**学校施設の環境整備**の加速、不登校児童生徒の支援など、子どもたちの**質の高い学び**と健やかな成長を支えます。

① 学校教育の質の向上

- ▶ **福島型オンライン授業** ▶ **非認知能力育成の実証プロジェクト**
- ▶ **個性をのばす教育**（著名人・企業と連携したスポーツ・文化芸術の教育）
- ▶ **ブカ☆サポ**（市職員の部活動指導員への任用6名）
- ▶ 部活動の指導員拡充、段階的地域移行へコーディネーターを配置
- ▶ **スクール・サポート企業登録制度**（R7.4 企業の学校活動支援、登録100社以上）
- ▶ **授業改善サポーター配置**（教員の指導力向上） ▶ **教職員の働き方改革推進**
- ▶ 中学生ドリームアップ（職場体験、キャリア教育） ▶ **中高生海外チャレンジ応援**
- ▶ **ヒロシマ平和学習プログラム**（戦後80年の機会に中学生を派遣）



個性をのばす教育



松陵義務教育学校

② 学びの環境の充実

- ▶ **義務教育学校の開設**（R7.4松川地区）**本市初** ▶ **特別支援学校再整備**
- ▶ **公立夜間中学「天神スクール」**（R6.4）**県内初**
- ▶ 中央地区の小学校再編（先導的な教育モデル・不登校支援も検討）
- ▶ **学校施設リフレッシュ**（外壁・屋上の改修・長寿命化） ▶ **照明LED化**（3年計画）
- ▶ **体育館のエアコン整備**（4年計画） ▶ **バリアフリー化**（二小エレベーター設置等）
- ▶ 学校施設の包括管理（R8導入予定）
- ▶ いじめ・不登校対応推進（R5条例改正）



公立夜間中学

支援教員配置8→11校に拡充、R6他校生徒受入5校 **県内初**、不登校児オンライン教材の本格導入

- ▶ **スクールロイヤー配置**（R6.10） ▶ **巡回型通級指導**
- ▶ **新学校給食センター整備**（R6.11着工。設計から15年間運営のBTO方式。R8供用開始予定）

(1) 健都ふくしまの創造、地域医療の充実

市民総ぐるみの健康づくりを推進するとともに、**高齢者の社会参加**や生きがいづくりを支援します。救急医療、医師確保対策など、医大や市医師会・医療機関と連携し、**地域医療の充実**を図ります。

① 健都ふくしまの創造 ～個人、地域、職場の健康づくり

- ▶ 福島らしい健康づくり（健脚文化、適しお、ヘルスリテラシー向上等）
- ▶ 特定健康診査、がん検診の推進
- ▶ 受動喫煙対策（駅東口喫煙所を閉鎖型で移設、重点区域の巡回指導）

② 高齢者の元気増進

- ▶ 高齢者の足の確保支援

新シルバーパスポート制度（R7.4タクシー利用導入）、小さな交通の拡大（大波地区など4地区に）

- ▶ 介護人材確保パッケージ（元気高齢者の介護職参入、資格取得支援拡充、養護老人ホーム措置費拡充）
- ▶ 定期予防接種の促進 ～自己負担軽減（3割：新型コロナ、インフルエンザ、肺炎球菌。5割：**带状疱疹**）
- ▶ シルバー人材センター活動支援 ▶ シニア向けeスポーツ交流会



③ 地域医療の充実

救急医療体制の充実

- ・ 休日夜間輪番制救急医療の体制確保（土曜日午前も）
- ・ **デジタルを活用した救急医療の強化**

12誘導心電図伝送装置、映像伝送システムLIVE119、マイナカード活用の救急搬送実証事業（R6.9）

- ・ 医大と連携した救急医療の基盤強化

地域医療体制の充実

- ・ **子ども医療確保対策**（小児科6カ所の新設支援、休日の小児科開設・オンライン診療、適正受診の啓発）
- ・ 夜間休日急病センターの運営 ・ 休日在宅当番医＋オンライン診療のハイブリッド体制
- ・ 医師確保、臨床研修支援等



マイナ保険証活用実証実験

(2) 共生社会の推進

ハード・ソフト・心のバリアフリーを推進し、外国人や動物にもやさしいまちづくりに取り組み、五輪レガシーとして誰もが安心して暮らせる**共生社会の実現**を目指します。

①バリアフリーの推進 ～バリアフリーマスタープラン策定(R3) 県内初

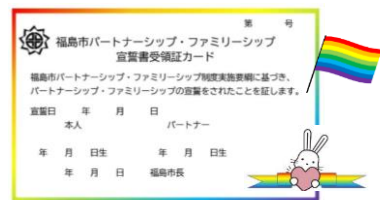
バリアフリー推進パッケージ

- ・ヘルプマーク普及 ・パラスポーツ普及 ・**サインガイドライン策定**(R7.3)
- ・エレベーター、スロープ、歩道点字ブロック設置 ・心のバリアフリー推進強化



②障がい児・者福祉の推進

- ▶**ワンストップの相談支援センター** (R6全ての障がい種別に対応、6カ所に拡充)
- ▶**医療的ケア児の在宅支援** 県内初 (家族の休息確保・負担軽減)
- ▶**いきいき！ふくしまマーケット&EXPO** (施設と圏域内企業のマッチング)



パートナーシップ・ファミリーシップ制度

③多様性尊重の浸透

- ▶**パートナーシップ制度導入** (R6.7 同性パートナー、事実婚、希望する親と子を対象)
- ▶**ダイバーワークスタイル推進** (企業認証制度。女性、障がい者、高齢者、外国人の雇用促進)

④多文化共生の推進 ～外国人との共生で地域活力・労働力へ

- ▶多文化共生センター「Yuiverse(ユイバース)」運営 (気軽に立寄る交流拠点)
- ▶**外国人の雇用促進** (R6.7企業向け相談窓口開設、セミナー開催)
- ▶日本語サポート (教員免許を持つ日本語指導コーディネーターを学校配置)
- ▶結・ゆい・フェスタ ▶**海外への支援募金** (R7ミャンマー地震、R6台湾地震・ベトナム台風)



多文化共生センター

⑤動物との共生

- ▶動物愛護推進 (不妊支援、しつけ方教室、譲渡時マイクロチップ装着等)
- ▶ペット同伴避難所の体制整備 (R4獣医師会と連携協定締結) ▶野生鳥獣と人の棲み分け

(1) 農林業の振興

農林業振興基金を活用して施策を拡充し、次世代を見据えた持続可能な農業を促進します。
果実プロモーションの展開等により、販売拡大とブランド力向上を図ります。

① 農業の振興 ～ 太陽光発電事業寄付金による基金を活用 次世代型農業の推進

- ・気候変動適応型農業支援（渇水・高温対策の自動灌水装置等）
- ・スマート農業実装支援（作業効率化・生産性向上のスマート農機具・システム導入）
- ・脱炭素設備導入支援（農家事業用の太陽光発電システム導入助成）
- ・脱炭素・循環型農業支援（先導的な循環型モデル事業、園芸施設エネルギー転換、剪定枝の利活用）
- ・カジュワーク+（R6.6業種拡大） ・収入保険加入の促進（R7まで特別対策）
- ・防霜システムICT化（R7.3）

▶ 提案型の地域課題解決事業（R7取組14件を支援）

▶ 新規就農支援パッケージ ▶ 樹園地の継承

▶ 鳥獣被害対策、ツキノワグマ被害特別対策

▶ 福島地方卸売市場の再整備推進

② 販売拡大・ブランド力向上

▶ 「ゆうやけベリー」ブランド確立

▶ F-BOX活用（詰め合わせ商品ブランド化）

▶ 果実等プロモーション

重点消費地や交流都市へのトップセールス、ピーチ&アップルホリデー

▶ 園芸グローバル産地育成支援（農産物の輸出拡大を促進）

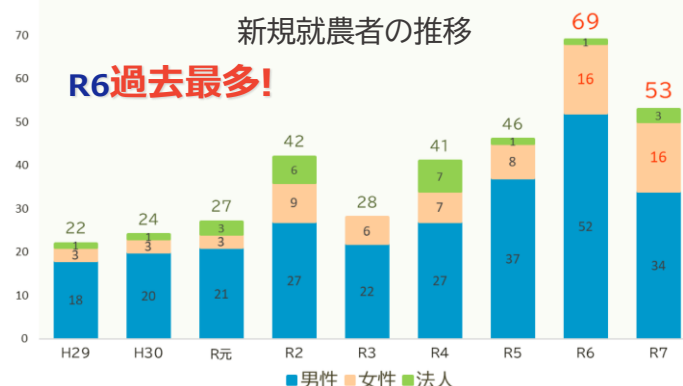
▶ 軽トラ市の開催 ▶ 食品加工の産業化、新商品・新品種の開発促進



カジュワーク+（プラス）



F-BOX



R6桃の販売額 過去最高!



将来にわたり持続可能な産業の振興

(2) 商工業の振興

地元企業のチャレンジや事業承継を支援します。企業誘致や新規創業を促進して魅力ある**企業・産業の集積**を高め交流・連携を拡大し、**新たな価値の創出**を推進します。

①地場企業の振興

- ▶**新製品・新技術開発支援**（開発期間を2年間に拡大）
▶**ふくしま新製品・新システム応援**（市内企業開発製品の認知度向上や販路拡大）
▶**凍み豆腐事業継承推進**（温暖化適応の製法を福大と共同研究）
▶**企業向け外国人材活用相談窓口** ▶**次世代後継者育成「夢創塾」**
▶**産業交流フェア**（R6圏域59団体出展） ▶**中小企業ゼロカーボン資金融資**



クリエイティブビジネスサロン

②新規創業支援

- ▶街なか創業ゾーンの形成（都市型産業の集積）
- ▶クリエイティブビジネスサロン運営 ～新たな働き方の促進
- ▶ふくしまTokyoHUB

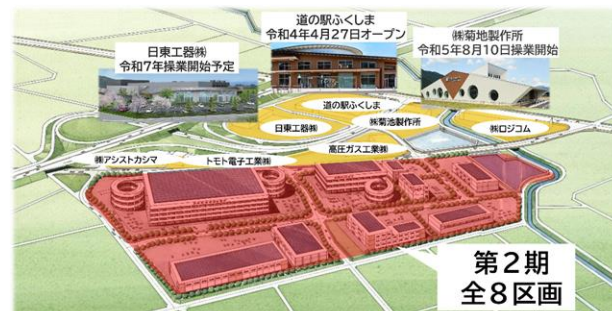
首都圏企業や若手創業者との交流拠点、オフィス誘致や連携事業創出。創業支援トップセールス。

- ▶起業女子応援パッケージ ▶創業応援利子補給パッケージ
▶大学や誘致企業と連携した研究開発、新産業の創業支援

③企業誘致の促進

- ▶第2期おおぞうインター工業団地（R7.6全区画販売）
- ▶企業誘致支援の拡充と追加投資の促進（R6.3条例改正）
- ▶企業誘致トップセールス
- ▶誘致企業と地場企業の新事業・サプライチェーン構築促進
- ▶「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援（本社・支社機能誘致、

企業誘致
H30～R5 19社



おおぞらインター工業団地

(1) 街なかの活性化

駅東口再開発事業を支援し、連携して**交流・集客拠点施設**を整備するほか、耐震性の弱い**公共施設の再編整備**を進めます。多様な仕掛けで**店舗・人の集積**を促し、**賑わいを創出**します。

① 中心市街地のまちづくり

～風格ある県都を目指すまちづくり～

▶ 東口再開発事業 ～交流・集客拠点施設整備

・資材高騰、市況悪化で事業計画を見直し。R11開業を目指す

▶▶▶ 見直し方針 コンセプト

～賑わい・文化・つながりを生み出す「FUKUSHIMA EGG」

・駅前**のシンボル**となり、より使いやすく**魅力的な施設へ**（基本設計）

▶ 駅東西一体のまちづくり

駅周辺まちづくり検討会より意見、西口商業施設跡地の方向性等
駅構内コンコース東西通行の社会実験(R6.11)

▶ 街なかの都市力強化 ⇒ 商業等立地に波及

「人が住む・働き学ぶ・集まる・流れる」の4要素を一体的に取り組み、都市力を強化

② 公共施設の再編整備

複合棟（R7.3オープン。中央学習センター、市民会館等を統合・複合化）

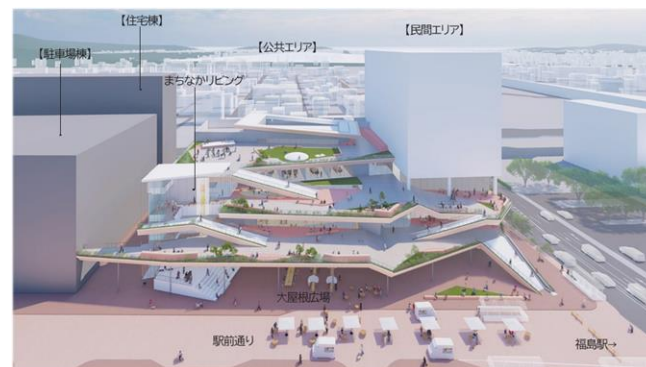
・**市民センター**（1～3F）～多用途の日常的な市民活動拠点

・**議会機能**（4～5F） ・**防災機能** ・**環境への配慮** ・**共生社会の実現**

▶ 未利用公有財産の利活用

提案型民間活力導入制度を創設、笹谷・南矢野目市有地の譲渡R6

▶ 清水支所の建替（R6.2開所）



駅前通りの外観イメージ
（屋上広場が道のように立体的につながり動的な印象）

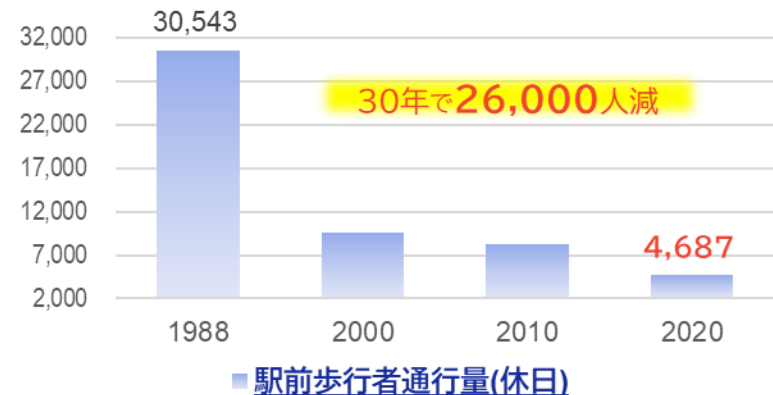
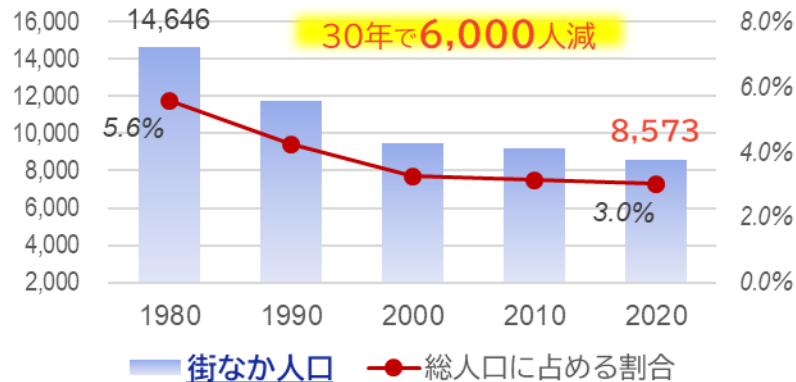


市民センター

中心市街地の人口・事業所等の推移

【街なか衰退の構造的要因】

- ▶ 集客力ある施設の減 ⇒ 週末イベントでカバー(地元との連携に課題)
- ▶ 居住人口の減 ⇒ 食品や日用品などの需要に影響
- ▶ 事業所数・従業者数の減 ⇒ ランチ、終業後のショッピング、ナイトライフなどの需要に影響
- ▶ 消費者行動の変容(車を店先などに停めて買い物や飲食をするなど目的のみ)
⇒ お店や商品などとの偶然の出会いが減



「コンパクト＋ネットワーク」のまちづくり

既存の人口・都市機能・基盤集積を生かした効率的な都市経営を進めるため、従来の拡大・拡散型の都市づくりを転換し、生活環境を重視した持続可能な集約型の市街地誘導・形成と中心部や地域生活拠点などが連携するコンパクト＋ネットワークのまちづくりを目指す。

また、市街地内の生活環境の向上や各地域の市民生活を支える地域生活拠点の強化を図るとともに、周辺部における農業生産環境の整備、豊かな自然の保全、既存集落の維持・活性化を図り、市街地と周辺の自然・田園が調和した都市づくりを目指す。

【福島市都市マスタープラン(平成29年3月)】

中心拠点＝広域的な拠点

市全体又は広域的に活用される高次都市機能を総合的に集積

行政、経済(業務、商業、コンベンション)、医療・福祉、大学・高校、文化、情報発信、まちなか居住等

コンパクト＋ネットワークのイメージ

都市計画区域

市街化区域

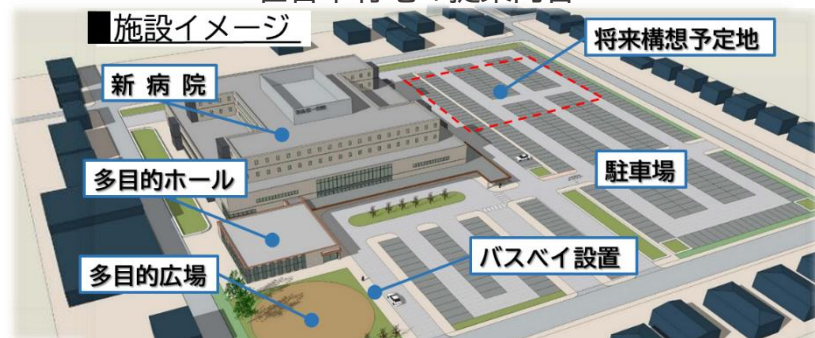
※国土交通省資料を加工

地域拠点

地域の特性に応じ、地域の市民生活を支える拠点、観光や工業、農業等の特定分野の拠点を形成

南矢野目地区(商業系拠点)、飯坂地区(観光、生活拠点)、大笹生地区(工業、交流・スポーツ拠点)、笹谷地区(居住系拠点) 等

< 笹谷市有地の提案内容 >



敷地面積 : 約26,000㎡

主要な用途 : 病院、多目的ホール、多目的広場

※福島第一病院の移転新築。病床数150-196床。

(社会医療法人福島厚生会資料より)

< 南矢野目市有地の提案内容 >



敷地面積 : 約28,500㎡

主要な用途 : 市場、書籍・カフェ、イベント広場、子ども図書館など

※車で10分の商圏(5km)を想定

(イオンタウン(株)資料より)

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(1) 街なかの活性化

③街なかの賑わい創出

街なか出店の促進

- ・ビル等の**新增改築支援**（民間投資促進、都市機能集積）
- ・新規出店の内外装工事等補助
- ・街なか出店家賃補助（アパレル産業等の支援を手厚く）
- ・**低未利用地利活用**（空地空家） ・不動産投資研究会

人が集まる仕掛け

- ・拠点施設の整備

まちなか広場、街なか交流館、西口エールビジョン、駅前地下歩道階段アートデザイン、ストリートピアノ、**再開発エリア「駅前にぎわい広場」、駅前通りの市移管**

- ・街なか居住促進（新婚・子育て世帯向け市営住宅、R6.4入居要件緩和）
- ・ほこみち社会実験（R6.10日常的な憩いの道路空間） ・バンケット機能提供（R6.10テルサ活用）

イベント等による賑わい創出

- ・商店街等活性化イベント支援

支援体制を構築し、春先から年間を通じて切れ目のない賑わいづくり

- ・まちなかこどもの日（5/5開催。街なか全体で子どもたちをおもてなし）
- ・学生等のまちづくり活動支援
- ・街なか賑わい創出プロジェクト（情報サイトでイベントの共有と連携）

回遊を促す仕掛け

- ・赤・青メロディバス
- ・ももりんシェアサイクル
- ・回遊式イベント
- ・パークアンドライド
- ・**西口循環バス実証運行**（R7.2～）

街なか出店 R2以降 **152件**

※R7.5月現在



街なか新規出店



駅前通り、にぎわい広場



まちなかこどもの日



青メロディーバス

①クリエイティブビジネスサロン



②駅東西通行社会実験



③駅前地下歩道ストリートピアノ階段アート、新・街なか交流館



④歩行者天国定期化(軽トラ市)



⑤駅東口再開発事業(イメージ)



⑥医大保健科学部開設、大原総合病院・赤十字病院移転



⑦新まちなか広場



⑧ほこみち社会実験



⑨県庁通りアーケード改修



⑩パセオ通りバリアフリー化、カリヨン時計



街なかの新しい動き



⑮古関裕而記念館リニューアル



⑭花の写真館リニューアル



⑬消防本部・福島消防署(イメージ)



⑫市民センター



⑪公立夜間中学開校



開校式

(2) 観光対策の強化

市外から人を呼び込み、観光消費を高めることを意識しながら、テーマ観光の推進や道の駅ふくしまの運営、大規模イベントと連動した事業展開に取り組みます。

①福島らしい観光

テーマ観光の推進

I 花観光 ～ふくしま花回廊(通年の花観光)

II あづま山麓エリア観光

- ・吾妻五葉松ツーリズム (首都圏PR、ガイド人材育成)
- ・蔵元ツーリズム (5蔵元が集まる「ふく酒街道」周遊)
- ・四季の里活用 (開園30周年記念事業、リニューアル着手)
- ・土木遺産群インフラツーリズム

III 空観光 ～スカイパーク活用促進(R6.11 室屋氏会社と「空」がテーマの協定締結)

IV フルーツツーリズム ～ピーチホリデイ、アップルホリデイを展開

V ロケツーリズム

- ・ロケ誘致と観光への活用 (滞在費補助新設。ロケ実績 R3～R6:109件)
 - ▶ふくしま花火大会、わらじまつり (有料席・テーブル席の設置、観光消費を意識)
 - ▶東北絆まつり大阪万博出演 (R7.6) ▶「ふくしまステイ。」プロモーション
- 大規模イベントの活用 ～来訪者拡大とレガシー創出(受入体制整備、関連事業展開)
- ・プレDC (R7.4～6) ・ジブリ展 (R7.7～9)
 - ・大ゴッホ展 (R8.2開幕。環境整備、観光・文化への活用)
 - ▶インバウンド誘客 (SNS・動画配信、デジタルパンフ多言語化、海外プロモーション)
 - ▶ふくしまMICEパッケージ ～大規模会議誘致と開催支援

R6観光客入込数 **841**万人
3年連続 過去最高!



蔵元ツーリズム



「空」がテーマの協定締結



わらじまつり

国際会議観光都市認定(R7.3) 県内初、バンケット会場移動支援

(2) 観光対策の強化



道の駅ふくしま 3周年

来場者数・売上額 R6過去最高!

②道の駅ふくしま

「実・湧・満・彩 福島市」の地域振興拠点 ～集客交流、情報発信、産業振興

- ▶ **多彩な魅力** : ピアノイメージ外観、県産材活用、眺望、くだものなど地元農産物・フードメニュー・日本酒等
- ▶ **多彩な機能** : 屋内こども遊び場、ドッグラン、電動付きレンタサイクル、重点道の駅、広域防災拠点、東北道利用者も「寄り道」可能など

道の駅ふくしま



来場者
500万人
突破!

③温泉地活性化 ～ふくしま三名湯ブランディング～

「飯坂温泉」

レトロな街並み
熱さ番付

国有形文化財…

旧採進堂酒店(R1)、十綱橋(R2)、
旧堀切家住宅(R2) 斎正機氏絵画展示

新規出店の内外装工事費等補助



「土湯温泉」

こけし エビ養殖
熱利用発電

都市再生整備…

公衆浴場「中之湯」(H30)
観光交流センター「湯愛舞台」(R1)
まちおこしセンター「湯楽座」(R1)

「高湯温泉」

乳白色の硫黄泉
源泉かけ流し宣言

じゃらん

人気温泉地ランキング 第1位
2024版 満足度総合部門
満足度94.4%

▶ 公衆浴場・飯坂町財産区の持続可能な経営改革 (R7.2条例施行)

・設備更新、バリアフリー化等の必要投資 ・入浴料、温泉使用料の見直し ・柔軟な企画券や営業時間設定

▶ 木製手形の湯めぐり企画券の導入 (飯坂温泉R7.6予定)

▶ 三温泉地連携組織の創設 (温泉地の活性化と誘客促進)

(3) 古関裕而のまちづくり、歴史・文化と調和したまちづくり



連続テレビ小説「エール」や野球殿堂入りのレガシーを活用・継承し、古関裕而のまちづくりを推進します。
本市の歴史と文化を生かした特色ある事業を展開し、福島らしい文化の振興を図ります。

①古関裕而のまちづくり ～朝ドラ「エール」のレガシー活用

- ▶第3回古関裕而作曲コンクール (R7.1本選)
- ▶チェンバー・オーケストラの活動支援
- ▶野球殿堂入りレガシー



作曲コンクール



古関裕而杯 第2回中学生女子軟式野球大会、全早慶野球戦(R5.11)

- ▶まちなか音楽祭2025 ～街中に音楽があふれる、2日間に拡大
- ▶古関裕而記念音楽祭 ～朝ドラ「エール」放映5周年・戦後80年企画
- ▶古関裕而メロディ体感の仕掛け

中学生女子
軟式野球大会

赤・青メロディーバス、メロディーボックス、デザインマンホール、パセオ通りカリヨン時計塔など

②歴史・文化と調和したまちづくり

福島らしい文化の振興

- ・文化振興条例、文化振興計画の制定
- ・文化財調査室移転 (旧東湯野小の活用)
- ・文化施設の保存活用 (旧広瀬座再整備R7末完成予定、写真美術館・民家園の活用)
- ・斎正機氏の絵画展示 (市民センターに展示、寄贈10点を旧堀切邸やCBS等に展示)
- ・土湯伝統こけし製作技術の福島市無形民俗文化財指定



まちなか音楽祭

古代文化の保存と活用

- ・縄文シティサミットinふくしま (R7.8開催。全国22都市加盟)
- ・西久保遺跡の保存活用 ～古代東北の史料



しゃがむ土偶



旧広瀬座

「鎮兵」木簡 全国初出土 レプリカ展示、水場遺構移築復元の検討・調整

- ・じょーもぴあ宮畑の活用推進 (10周年)
- ・和台遺跡整備
- ・しゃがむ土偶の活用

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(4) スポーツのまちづくり、シティセールス

東京2020大会開催のレガシーを活用した事業を展開し、**スポーツのまちづくり**を推進します。
本市のまちづくりを効果的に発信し、**ファン拡大と関係人口の増加**を目指します。

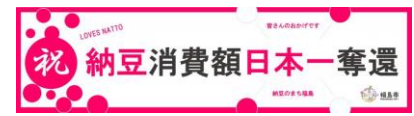
①スポーツのまちづくり ～五輪レガシー

- ▶**ふくしまシティハーフマラソン2025**（R7.5.18開催）
全国マラソン大会100撰に選出、ハーフ全国ランク3位
- ▶**スポーツコミッション** ～大会・合宿の誘致と支援
大相撲巡業、東洋大水泳部・デフサッカー日本代表の合宿
- ▶**パラスポーツの振興**
パリパラ ボッチャ銅メダル遠藤選手へスポーツ賞授与、小学校パラアスリート派遣
- ▶**スポーツ施設の改修**
- ▶**スポーツ人口拡大とプロスポーツ支援**



②シティーセールスの推進 ～ファン拡大と関係人口増加

- ▶**ふるさと納税**
まちづくり賛同型の展開、独自色の強い返礼品など
- ▶**ふるさと納税活用型の地域活性化プロジェクト応援**
- ▶**納豆のまち福島ブランド化**
毎月10日は納豆の日、納豆グルメマップ(21店舗)
- ▶**東北絆まつり大阪万博出演**（R7.6復興と魅力を発信）
- ▶**首都圏の関係人口創出**
首都圏での若者世代交流事業
東京福島市のつどい開催 ～故郷とのつながり支援



5 賑わいと文化・スポーツの振興



(5) 活力ある地域づくりの推進と交通ネットワークの充実

① 活力ある地域づくりの推進

個性ある地域づくり

- ・**UFOの里づくり** ～物産、観光、農業などと連携した自立的なまちづくりへ
オリジナル地酒づくり、UFOフェスティバル、UFOの里が主要舞台の映画制作決定、WEBサイトリニューアル

- ・学生街のまちづくり（金谷川地区での店舗等出店支援）
- ・**公衆浴場改革**（持続可能な経営。入浴料見直し、柔軟な企画券発行）

▶ 地域おこし協力隊による地域づくり支援

立子山(R7.5)、**飯坂**(R7.3)、**西地区**(R6.12)。現8名(女性3名)

▶ 市有地を活用したまちづくり

笹谷市有地 ～第一病院を核としたまちづくり

南矢野目市有地 ～イオンタウンを核とした多世代交流拠点

▶ 地区計画の活用 ～岡部地区等

▶ 市営住宅の再編



UFOフェスティバル



地酒「宙飛ぶ宴絆」

地域おこし協力隊



飯野
(R4)

大波
(R4)

吾妻
(R5)

土湯
(R5)

松川
(R6)

西
(R6)

飯坂
(R7)

立子山
(R7)

飯坂
(R7)

② 交通ネットワークの充実

▶ 国道13号福島西道路

南伸…当初予定のR8開通を要請 北伸…事業化を働きかけ

▶ 国道115号大波地区の抜本的改良、新ルート要望

▶ 国道399号飯坂東バイパスの早期事業化 ▶ フルーツライン整備の促進

▶ 都市計画道路 ～**曾根田町桜木町線宮下町工区**(R7.3完成)、**太平寺岡部線御山町工区**(R8完成見込み)

▶ 持続可能な公共交通の確保（新たな交通システム導入の検討、生活路線バス運行支援）

(1) デジタル都市の形成

高齢者にもやさしいデジタル化、行政や地域社会のDXなど、**地域全体のデジタル化浸透**を進めるとともに、**デジタル人材・事業者が集まるまち**を目指します。

① 高齢者にもやさしいデジタル化

- ▶ **デジタルサポートデスク**（5カ所開設）
- ▶ 市民相互の学び合い（**6デジタルクラブ**、世代間デジタル交流）
- ▶ シルバー人材センターICT班活動支援（23名）
- ▶ シニアICTサポーターの育成（64名）

② 地域社会・経済のデジタル化

- ▶ **ふくしまデジタル・イノベーション・アワード創設**
- ▶ 都市計画情報の3Dデータ化 ▶ 電子入札の対象拡大 ▶ 電子図書館
- ▶ デジタル人材バンク（R4～**マッチング20件**） ▶ 電子町内会（42町会）

③ 牽引エンジンとしての行政のデジタル化

市民サービスの向上

- ・ **市HPのリニューアル** ・ 母子保健スマート窓口（オンライン利用99.5%）
- ・ 市公式LINEで情報発信・イベント予約等（**LINE登録7.6万人**）
- ・ 公共施設予約システム（約半数利用、キャッシュレス決済 **東北初**）
- ・ **書かないワンストップ窓口システム導入** ・ 行政手続きのオンライン化（**申請348手続き**に拡充）

行政の高度化・効率化

- ・ 文書生成AIの活用 ・ システム標準化とガバメントクラウド移行（基幹20業務を順次移行）
- ・ 農地調査の衛生画像解析 ・ AIカメラ人流分析 ・ **被災者支援システム**（民間共同研究、**特許申請**）
- ・ **業務システム内製化の推進**（H30～システム化**112件**、他自治体へ提供し効果波及）
- ・ 答弁検討システムの商品化（民間連携で開発、自治体ビジネス収入。R7:41団体導入）

日本DX大賞2024 **優秀賞** 受賞

合意形成と推進体制

ふくしまデジタル推進協議会(R4.7)
デジタル都市宣言(R4.11)
福島市DX推進本部(R6.4)

【マイナンバーカード】R7.3月末
・保有率 **79.1%**（全国78.2%）
・交付率 **89.4%**（全国87.5%）



世代間デジタル交流

(2) 地域経営のリノベーション

市民・事業者とのコミュニケーションを図り、**共創**と連携によるまちづくりに取り組みます。
持続的発展に向け、**多様な連携**や**広域的な取組**を推進します。

①共創によるまちづくり

▶**公民こねくと** ～実効ある公民連携のワンストップ窓口

民間事業者等からの取組提案・相談、民民連携の橋渡し、市課題への提案募集

取組15件…不登校児のオンライン教材、災害事務効率化の共同研究など

▶**産学官連携プラットフォームの推進**（若者の地元定着等の地域課題解決）

▶**こくりナビ**（まちづくりへ若者参画。学生・若手社員と市事業や地域をマッチング）

▶**地域コミュニティ活動支援**（地域裁量の補助枠を創設R6） ▶**出前講座**



障がい施設製品商談会

②広域行政と都市間交流

▶**ふくしま田園中枢都市圏** ～広域的発展、移住定住・観光周遊など各分野で連携

障がい施設製品商談会、圏域LINE「あそびばみつけ」、共同発注、企業合同説明会

▶**都市間交流**

荒川区：酒造り交流、共同森林整備、本市農産物販売。友好都市

豊橋市：大わらじ演舞、相互特産品販売。手筒花火披露。パートナーシティ協定締結(R5.2.9)



圏域LINE「あそびばみつけ」

③持続可能な行財政経営

▶**新総合計画の策定**（R8始期、**市民ワークショップ**、**有識者懇談会**）

▶**改革改善運動「かえるチャレンジ」**

▶**財産マネジメントの高度化**（学校施設の包括管理R8、市営住宅指定管理R7）

▶**上下水道事業の一体化**（R7.4上下水道局を設置。R8.4一体運営）

▶**旧金谷川小学校を福大水素研究拠点へ**



豊橋手筒花火

7 ゼロカーボンの推進

(1) 再生可能エネルギー活用・省エネ化の推進

豊かな環境を未来に引き継ぎ、福島らしい**地域共生型の再生可能エネルギー**の活用を推進します。
エネルギー価格の高騰や多発する災害への対応も踏まえ、**省エネ・省資源**の取組を促進します。

①事業者・家庭向け支援

- ▶小水力発電促進
- ▶水素活用の普及

FCV購入への市独自補助、民間定置式水素ステーション開設(R5)

- ▶**脱炭素生活スタイルの普及啓発、脱炭素住宅整備促進**
- ▶中小企業ゼロカーボン資金融資
- ▶**省エネ設備導入支援** (LED化促進、Jクレジット制度活用)
- ▶ゼロカーボンパーク登録 (R5) **東北初**

土湯温泉地、高湯温泉地

- ▶ふくしまサステナブルおもてなし宣言 (R5)

SDGsに取り組む観光事業者のブランド力アップ

②公共施設での活用推進

- ▶公共施設への太陽光発電設備 (24カ所)
- ▶市民センターへの水素発電・太陽光発電設備の設置
- ▶ZEH水準の市営住宅「Fスタイル春日町」整備
- ▶新清水支所のニアリーZEB認証 (R6.2開所)
- ▶**学校、公共施設、道路等の照明LED化を加速**
- ▶公用車のエコ化 (原則EV・PHV、R7:充電設備1基設置)
- ▶クリーンセンターのバイオマス発電活用
- ▶こむこむ館の屋根改修による冷暖房削減

福島市ゼロカーボンシティ宣言(R3.2)

2050年度CO₂排出 実質**ゼロ**

脱炭素計画目標前倒し

2030年度CO₂削減:30%

⇒ **55%**

ノーモア メガソーラー宣言(R5.8)

- ・山地への新規大規模太陽光発電を望まない
- ・地域共生型の再生可能エネルギーを推進



実効性ある条例制定(R7.4)

- ・環境との共生
- ・禁止区域等を設定
- ・風力発電も対象
- ・公表や適切管理を義務化



市民センター
太陽光発電



ZEH水準
「Fスタイル」市営住宅

7 ゼロカーボンの推進

(2) 森林整備・木材利活用の推進、ごみ減量化の推進

二酸化炭素の吸収源である森林の整備と普及啓発を進め、併せて、木材利用を促進します。
市民が快適な生活を営み続けられるよう、持続可能な**循環型社会**の構築を目指します。

①森林整備・木材利活用の推進

- ▶森林の適切な管理運営、森林再生、林道整備
- ▶森林ビジョン（R7末策定、環境変化等を踏まえ将来像を示す）
- ▶荒川区との「あらかわの森」共同森林整備、間伐材利用
- ▶公共施設での木材積極活用
清水支所、旧広瀬座、(仮称)もりあい認定こども園など
- ▶私立学校の木造校舎建築支援
- ▶建築物木材利用促進協定（R6事業者の新築社屋に木材活用）



「あらかわの森」
共同整備



生ごみ処理
「キエーロ」

②ごみ減量化の推進

ごみ減量化・資源化の促進 ～生活系ごみ目標1人1日530g以下

- ・生ごみ減量化に重点（キエーロ活用促進）
- ・雑紙等分別強化
- ・分別アプリでのリサイクル促進
- ・食品ロス削減
- ・ごみ分別区分の名称リニューアル（R7.3資源化意識の醸成）
- ・充電式電池の回収・乾電池の資源化（R7.3）
- ・製品プラスチックの回収実証実験（R6.11）



違反ごみ排出指導

ごみ適正排出の推進

- ・改正廃棄物処理条例施行（R7.3違反ごみの開封調査、改善勧告、公表）
- ・折りたたみ式ごみネットの設置支援
- ▶官民イベントでのごみ削減等（イベント補助の要件化）
- ▶フードシェアリングサービス「ふくしまタバスケ」（食料品店の食品ロス削減）

ふくしま  タバスケ



(1) 移住定住の促進

本市独自の**手厚いサポート**や支援策の拡充で、一層の移住促進を図ります。
結婚や新生活の後押しと住環境の整備により、**子育て・若者世帯の定住**を促進します。

① 移住の積極的推進

▶ワンストップ相談窓口 ▶移住コーディネーター配置

▶ふくしま移住促進

首都圏での移住フェア＆本市単独出張相談、
おためし移住体験(プレ移住サポート、宿泊費補助)

▶UIターン移住支援 ▶広報推進 (移住応援サイト、WEB広告)

▶移住新生活応援 (引越費用補助、お湯めぐりパスポートを贈呈～福島三名湯3年間入浴料無料!)

▶移住者の**空家リフォーム補助**

② 結婚・定住しやすい環境整備

▶出会いの場創出 ▶**婚姻届・出生届リニューアル** (R7.3)

▶結婚新生活応援 (R6:**384世帯**)

▶わかもの住まい支援 (民間賃貸住宅を活用した新婚・子育て世帯の家賃支援)

▶**子育て・若者世帯向け市営住宅** (R6:**34世帯102名**、R6.4入居要件緩和)

ふくしま☆スタイル住宅整備 ～住んで良かったと実感できる魅力ある市営住宅

・**新築住宅**…多世代交流型「Fスタイル春日町」。DBO方式、本市初ZEH水準

・**DIY住宅**…入居者が自由にアレンジ

・**リノベーション住宅**…フランフラン家具等設置モデル

▶移住者同士や地域との交流 (くだもの収穫体験交流会など)

移住者数

過去最多を更新

R5 ▶ R6

470人 ▶ **472人** 対前年度比 **100.4%**

269世帯 ▶ **287世帯** 対前年度比 **106.7%**



婚姻届・出生届リニューアル



ふくしま☆スタイル
リノベーション住宅

(2) 女性活躍社会の形成

市が率先垂範し社会的な意識改革を促しながら、女性が活躍しやすい環境づくりに取り組みます。

①ふくしま起業女子応援パッケージ ～先輩たちが姉妹のように伴走型で支援

チャレンジ講座、起業姉妹カフェ、プチインターンシップ、お試しワンデー起業

②女性活躍のための施策

- ▶女性相談支援強化（女性の困難な問題への支援ネットワーク構築）
- ▶ダイバーワークスタイル推進（企業認証制度。女性、障がい者、高齢者、外国人の雇用促進）
- ▶ジェンダー平等の推進（公共施設・公立中学校のトイレに生理用品配置。公共3施設⇒R6:20施設）
- ▶女性向けデジタルスキルセミナー ▶ひとり親の資格取得支援
- ▶経済界への女性雇用環境等の改善要請 ▶男女共同参画の啓発

起業した
シェアキッチン



③女性の社会的地位向上への取組

▶女性市職員の積極的登用

部長職 H29: 1人(4.5%) ⇒ R7: 2人(8.7%)

管理職 // :10人(5.9%) ⇒ // :22人(12.6%)

消防吏員 // : 2人(0.8%) ⇒ // :10人(3.3%)

▶審議会等の女性比率 H29:29.1% ⇒ R6:37.3%(法定外含め43.3%)

▶自治振興協議会の女性参加率 H29:13.3% ⇒ R6:38.9%

②男性の育児参加促進

▶子育て2020(フレフレ)プログラム(男性の育児休業取得推進)

男性職員育児休業取得率 H29:6.3% ⇒ R6:98.3%

▶企業向け男性育児・家事促進セミナー ▶子育てエールメッセージ、子育てエールデー

▶市長自ら「イクボス」宣言 ・「おとう飯」サポーター就任



行動
宣言

輝く女性の活躍を加速する
男性リーダーの会

(R5参加)



子育てエールメッセージ

物価高騰対策

◎ 物価高騰対策

原油価格上昇や円安による物価高騰の影響を受ける**市民生活と地域経済を支援**します。

①市民生活支援、事業者支援

福島市くらしにエール事業

- ・**生活支援特別給付金** ～非課税世帯
低所得世帯の生活支援。(R7. 3～)
- ・**プレミアム付きクーポン** ～他の世帯
10,000円の紙クーポンを8,000円で購入
市民生活の支援と、地域経済の下支え。(R7. 5～7)

【生活支援特別給付金】

区分	特別給付金 (1世帯あたり)	こども加算 (児童1人あたり)
国	30,000円	20,000円
県	3,000円	—
市	3,000円	—



▶福島型給食推進事業の継続

給食の質と量を継続的に確保

材料高騰分の**給食費負担軽減**1/3(R4.7)⇒4割支援(R5.5)⇒**47%支援**(R7.3)

▶子ども食堂緊急支援

米の現物支給、1団体20～100kg。子ども食堂NET加盟50団体。(1回目R7. 2、 2回目R7.6)

②物価高騰に強い体質づくり

▶省エネルギー設備導入支援

中小企業や小規模事業者のLED照明への器機更新

購入金額1/3 上限20万円 (R7. 5～)

▶米粉等利用拡大支援

海外情勢の影響を受けやすい小麦粉の代用として米粉等の活用を支援

米使用の商品開発(10万円)から生産・販売(価格差2/3)を支援



財政運営の方針

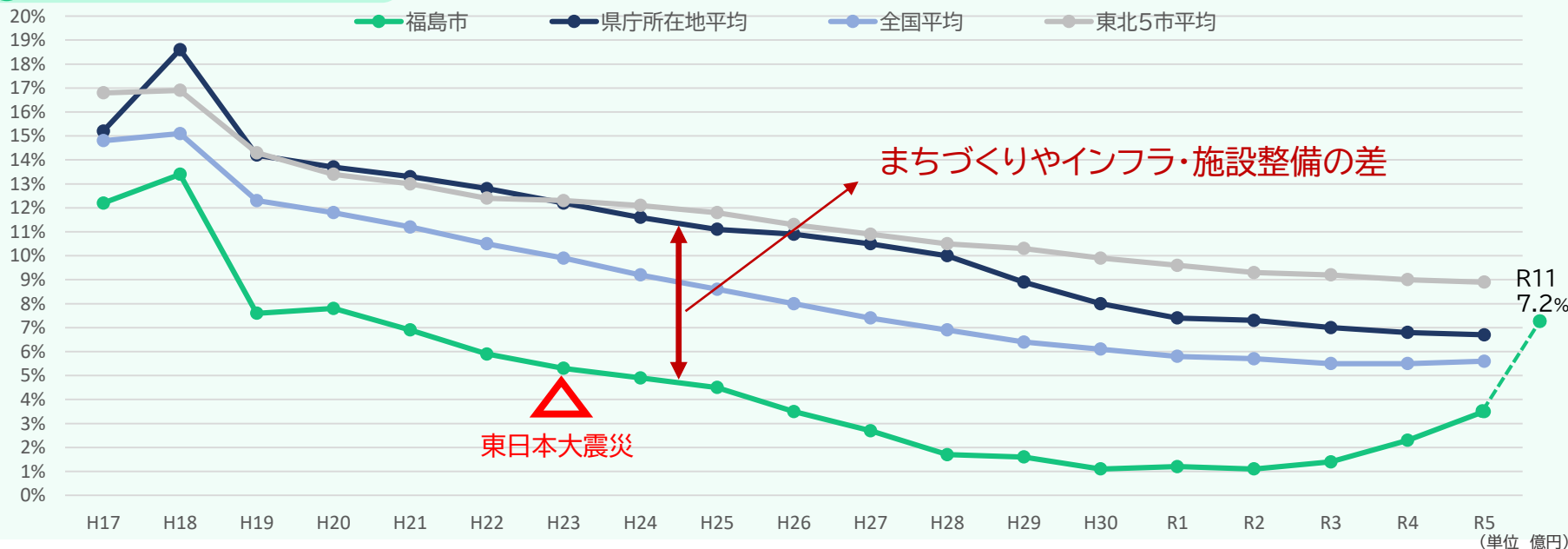
- ・人口減少、防災、地域活性化、デジタル化、ゼロカーボン化等への対応
- ・健全財政重視に伴う老朽化、都市基盤不足



健全性を維持しつつ、
先端課題に対応し、
基盤強化も図る積極財政を展開

- 本市では、人口減少、防災、地域活性化、デジタル化、ゼロカーボン化など将来も見据えた重要課題に対応するとともに、長年、健全財政重視で投資を抑制してきたことに伴うインフラ・施設の老朽化や都市基盤不足に同時並行的に対応していかなければならない。
- このため、健全性を維持しつつ、人口減少が本格化する前に、人や投資を呼び込むための攻めの施策を積極的に展開する。
- すなわち、将来も見据えた重要課題に対し先進的に取り組むとともに、同時並行して、老朽化したインフラ・施設の再編整備や修繕を時期を失することなく実施し、都市基盤の底上げ・強化を図っていく。

実質公債費比率の推移



	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
年度末市債残高	952	917	917	923	895	892	872	857	840	837	820	810	816	863	896	946	1,000	1,001	990
臨時財政対策債	89	112	130	157	185	234	276	322	365	397	420	433	447	465	477	483	491	477	452
事業充当市債等	862	805	787	766	711	658	597	535	475	440	400	377	369	398	419	463	509	523	538

財政状況

令和7～11年度 中期財政収支の見通し

(上段の単位：億円、下段は対前年度伸び率：%)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
歳入合計	1,294 △ 3.0	1,172 △ 9.4	1,319 12.5	1,368 3.7	1,280 △ 6.5	1,132 △ 11.6
市 税	396 △ 2.6	412 4.0	417 1.3	414 △ 0.7	419 1.2	425 1.2
地方消費税交付金	77 2.4	77 0.4	78 1.1	78 △ 0.2	79 1.1	79 △ 0.2
地方交付税	133 △ 8.4	151 13.5	153 1.3	158 3.3	158 0.0	157 △ 0.6
国・県支出金	327 △ 13.9	292 △ 10.7	346 18.7	357 2.9	356 △ 0.0	295 △ 17.3
基金等繰入金	71 63.2	14 △ 80.3	21 50.2	23 7.1	12 △ 45.8	8 △ 33.7
市 債	130 55.9	131 0.8	207 57.8	243 17.4	159 △ 34.6	73 △ 53.8
その他の収入	160 △ 21.4	95 △ 43.4	95 0.4	95 △ 0.4	95 0.4	95 △ 0.4
歳出合計	1,294 1.2	1,214 △ 6.2	1,376 13.4	1,420 3.2	1,333 △ 6.1	1,201 △ 9.9
義務的経費	578 0.3	614 6.2	625 1.9	629 0.6	650 3.3	657 1.0
人件費	199 7.4	216 8.3	219 1.5	217 △ 1.1	226 4.3	221 △ 2.0
扶助費	279 △ 4.8	296 6.1	299 1.1	302 1.0	304 0.7	306 0.4
公債費	100 2.0	102 2.1	107 5.2	111 3.0	120 8.4	130 8.1
投資的経費	186 6.2	176 △ 5.7	326 85.5	362 10.9	249 △ 31.2	104 △ 58.1
その他の経費	530 0.5	424 △ 19.9	424 0.0	429 1.0	434 1.3	440 1.4
歳入歳出差引額 (財源不足額)	-	-	-	-	△ 38	△ 70
財政調整基金年度末現在高	79	43	-	-	-	-
減債基金年度末現在高	85	80	66	15	-	-
計	165	124	66	15	-	-

※ 表示単位未満四捨五入のため、積上げ、差引きが一致しない場合がある。

(単位：%)

実質公債費比率	4.3	4.9	5.2	5.5	6.2	7.2
----------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

※ 地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、市の財政規模に対する割合で表したものです。